

## パラアスリートによる競技用義足のランニング講習会 「ブレードアスリートアカデミー 2021 (義足のチャレンジ)」を開催しました

MCC スポーツ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：佐藤 文彦、以下「MCC スポーツ」は親会社である三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「三菱ケミカル」）は、関連会社である株式会社 地球快適化インスティテュート（本社：東京都千代田区、社長：村山 英樹、以下「TKI」）、株式会社 チャレンジ（本社：埼玉県狭山市、社長：辰巳 久之、以下「チャレンジ」）と共同で、パラ陸上男子走り幅跳び（義足 T63）のアジア記録保持者である山本 篤 選手をはじめとする、パラアスリートによる下肢切断者に対する競技用義足のランニング講習会「ブレードアスリートアカデミー 2021」を開催しました。

本イベントは、山本選手から「私はたまたま運良く陸上を始めることができ、人生が豊かになった。以前より下肢切断者が走る環境が整ってきましたが、まだまだ足りないと考えており、自分たちのプレーを見てスポーツをしたいと思った人たちの想いに応えたい」という話を伺い、その想いに賛同して開催することとしたものです。

当日は、年齢も経歴も様々な下肢切断者 10 名にご参加いただき、パラアスリートたちと交流しながら、2 日間の指導を受けていただきました。初めて装着する競技用義足に戸惑っていた参加者のみなさんも、プログラムの最後には見事 50m ほどの距離を完走し、「競技用義足は反発が強く、跳ねることができて楽しかった」「山本選手をはじめトップパラアスリートである講師だから理解している正しい動き方を教えてもらえてよかった」「自宅近くで今回のような、競技用義足の貸し出しや指導を受けられる環境がなく残念」といった感想を寄せてくれました。

山本選手は、「ランニングを日常生活に取り入れることにより生活の質が向上させ、また、今回のアカデミーでの成功体験を弾みに、また別のチャレンジに繋げてくれたら」と期待を込めてお話しされていました。

三菱ケミカルグループ及び TKI は、三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる「KAITEKI※」の実現に向け、すべての人が健康でいきいきと暮らせる社会づくりに貢献していきます。

※ KAITEKI：三菱ケミカルホールディングスグループのオリジナルコンセプトで、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表します。

### 【開催概要】

日 時：2021 年 10 月 16 日（土）・17 日（日） 両日 10:00 ～ 15:30  
会 場：大阪府立障がい者交流促進センター ファインプラザ大阪  
内 容：下肢切断者（10 名）を対象とした、パラアスリートによるランニング講習会  
（義足ブレードの付け替え、歩行練習、ランニングに必要な基本動作、50m 走など）  
指導者：山本 篤 選手（所属：新日本住設株式会社）  
小須田 潤太 選手（所属：株式会社オープンハウス）  
前川 楓 選手（所属：新日本住設株式会社）

### <三菱ケミカルグループ及び TKI のパラアスリートとの取り組みについて>

TKI は、超高齢社会における歩行問題の解決をその研究課題の一つとしております。パラアスリートと得られた技術や知見を、歩行に難を抱える方々を支援するための用具開発やサービスの実現につなげるため、2016 年より、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立大学法人 東京大学、理学療法士と共同でスポーツ用義足ブレード開発に取り組んできました。義足ブレードに使用される炭素繊維を製造する三菱ケミカル、その複合材料の成形加工を手掛けるチャレンジといったグループの総力を挙げて開発したスポーツ用義足は、山本選手のアジア記録樹立や前川選手の自己ベスト更新の際に着用されるなど、一定の成果を挙げております。今回のブレードアスリートアカデミーでは、これらのアスリート用の義足ブレードを一般ユーザーにもご使用いただけるように再設計したのも使用されました。

また本年 4 月には、新たに山本選手及び前川選手との間で、義足の開発や技術開拓に関するパートナー契約を締結し、チーム KAITEKI 2.0 として新たな活動をスタートしています。

参加者からは、

「競技用義足が軽くてびっくりした。反発がすごく、跳ねることができて楽しかった」  
「トップパラアスリートである講師から正しい動き方を教えてもらえてよかった」

といった声が寄せられました。また、山本選手は「ランニングを日常生活に取り入れることにより生活の質が向上させ、また、今回のアカデミーでの成功体験を弾みに、また別のチャレンジに繋げてくれたら」と話されていました。



MCC 及び MCC スポーツは、障がい者スポーツの一層の普及・発展に貢献することで、一人ひとりの個性が尊重され心身ともに健康的な共生社会を実現することを目指しており、本イベントがその一助となると考えております。今後も MCHC グループでは、この義足開発を通じて蓄積した技術を、義足走者だけでなく健常者の歩行をサポートすることにも活用し、広く社会に貢献することを検討していきます。



左より 小須田選手、山本選手、前川選手



初めての競技用義足の装着



走り方の指導をする山本選手



初日の歩行練習



2日目のランニング練習



### メディア掲載 — 10月26日 日本経済新聞 朝刊 —

山本 篤 選手のコラムが紹介されています。ニュースウォッチログインにてカテゴリ「MCHC グループ関連」から10月26日「競技用義足体験の笑顔、山本 篤（スポーツピア）」を参照下さい。（ニュースウォッチでの閲覧制限あり）

KAITEKI ブレードを付けた 山本選手（左）と 前川選手（右）

